

## I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

文明発生以降の人類の歴史において人びとは、好むと好まざるとにかかわらず税を納めてきた。税制は国家統治の根幹をなし、社会、経済構造、さらには国家の盛衰にも影響を与えてきた。

中国は古代からの税制に関する詳しい記録が残っている地域のひとつである。秦の始皇帝は人民に対して田租とともに人頭税、労役、兵役を課した。唐ではそれ以前の王朝を引き継ぎ均田制が施行され、土地を支給された成人男子は税役と兵役を負担した。税役の中の庸は国家の土木事業のための労役を課すものであったが、主に (1) (2) で代納可能であった。しかし8世紀半ばに起こった (3) (4) 以降は中央政府の統制が衰え財政危機に見舞われた。このため780年には各戸の所有する土地や資産に応じて徴税する<sup>(a)</sup> 両税法を施行して財政の再建を目指した。また明代には従来の複雑な税を簡素化して銀でおさめる一条鞭法が (5) (6) 地方で始まり、その後全国に拡大した。

7世紀前半に生まれた世界宗教であるイスラームでも税のあり方は国家だけでなく宗教的にも重要であった。イスラーム史上最初の王朝で (7) (8) を首都としたウマイヤ朝ではアラブ人支配層は<sup>(b)</sup> 免税などの特権を持っていた。これは信徒間の平等というイスラームの理念に反するため<sup>(c)</sup> イスラームに改宗した非アラブ人の不満が高まり、以降の王朝ではアラブ人の特権は失われることになった。またイラクでは10世紀中頃に実質的な支配権を握った (9) (10) 朝統治のもと、軍人に支払われてきた俸給のかわりに一定の土地の徴税権を与えて土地の管理を任せる (11) (12) 制が始まった。この制度は各地で名前を変えながら存続し、オスマン朝の (13) (14) 制へと継承された。

ヨーロッパや地中海世界でも古代から種々の税が存在したが、ここでは近世・近代以降、重税が国家のあり方を変えた事例を見てみたい。18世紀のイギリスは七年戦争においてプロイセン王国の (15) (16) 2世を支援したが、その負担で財政難に陥った。それを植民地の人びとへの増税で埋め合わせるため1765年に (17) (18) 法を成立させた。このような政策が植民地の人びとの不満を招き、アメリカ独立戦争へとつながった。一方フランスはアメリカ独立戦争に参戦したことなどで財政難が悪化した。このため国王ルイ16世は第一身分の (19) (20) と第二身分の (21) (22) への課税を含む<sup>(d)</sup> 改革を実現しようとした。彼らは国土と官職のほとんどを占有していたものの免税特権を認められていたからである。しかしその過程でフランス革命を迎えることになった。

近代以降の国際社会において最も注目された税は関税であろう。特に欧米諸国がアジア・アフリカの国々と半ば強制的に結ばせた条約では後者が関税自主権を喪失することが多かった。たとえば清はアヘン戦争における敗戦を経て1843年に結んだ (23) (24) 条約などでイギリスに片務的最恵国待遇を与えるとともに、関税自主権を実質的に失った。さらに1844年にはアメリカと (25) (26) 条約を、フランスと (27) (28) 条約を結び、同様の権利を認めた。このような不平等な取り決めに対し、関税自主権の回復を目指す運動が起こった。第一次世界大戦で敗戦したオスマン帝国では、ヨーロッパ諸国による領土分割に対して (29) (30) が祖国解放運動を指揮し、トルコ新政権が1923年に連合国と結んだ (31) (32) 条約において関税自主権が回復された。中国でも (33) (34) 率いる南京国民政府が1928年に中国統一を完成させた後、関税自主権の回復に成功した。

第二次世界大戦後は自由貿易推進のための多国間の取り決めとして<sup>(e)</sup> GATTが結ばれた。しかしその後東西冷戦、グローバル化への対応などにより各地で経済ブロックが形成された。1960年にヨーロッパで結成された (35) (36) , 1995年にラテンアメリカで発足した (37) (38) がその例で、それ

ぞれ域内関税の撤廃を進めていった。一方1970年代以降は新自由主義の理念のもと、(39) (40) をめざす潮流が生まれた。それにともない富裕層に有利な税制改革がすすみ、貧富の格差が広まった。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (39) (40) にあてはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (1) ～ (40) にマークしなさい。

- |             |              |            |            |
|-------------|--------------|------------|------------|
| 11 ATTAC    | 12 EC        | 13 ECC     | 14 EFTA    |
| 15 MERCOSUR | 16 RCEP      | 17 安史の乱    | 18 イクター    |
| 19 イルハン     | 20 印紙        | 21 ヴィルヘルム  | 22 ヴェルサイユ  |
| 23 王室       | 24 汪兆銘       | 25 開発独裁    | 26 河西      |
| 27 華北       | 28 騎士        | 29 貴族      | 30 絹       |
| 31 江華       | 32 黄巾の乱      | 33 黄巢の乱    | 34 江南      |
| 35 江寧       | 36 黃埔        | 37 穀物      | 38 虎門寨追加   |
| 39 濟物浦      | 40 ザミンダーリー   | 41 ジェントリ   | 42 四か国     |
| 43 蔣介石      | 44 聖職者       | 45 セーヴル    | 46 セルジューク  |
| 47 孫文       | 48 ダマスクス     | 49 多民族国家   | 50 「小さな政府」 |
| 51 地方有力者    | 52 茶         | 53 ティマール   | 54 デヴシルメ   |
| 55 手形       | 56 天津        | 57 銅銭      | 58 農奴      |
| 59 福祉国家     | 60 フリードリヒ    | 61 ブワイフ    | 62 北京      |
| 63 望厦       | 64 マフディー     | 65 マンサブダール | 66 ミットレト   |
| 67 ミドハト・パシャ | 68 ムスタファ・ケマル | 69 メッカ     | 70 メディナ    |
| 71 綿        | 72 ルートヴィヒ    | 73 ローザンヌ   | 74 ワクフ     |

問2 下線部(a)に関連して、なぜこの税法が両税法と呼ばれたのかを、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部(b)に関連して、非ムスリムの被征服民が納めていた(あ)地租、(い)人頭税の名称を、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部(c)に関連して、イスラームに改宗した非アラブ人は何と呼ばれていたか。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部(d)に関連して、改革が模索されていた時期に『第三身分とは何か』を書いてアンシャン・レジームを批判したのは誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部(e)に関連して、GATTを継承する形で1995年に設立された国際機関の正式名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

## II. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

古代ギリシアのヘロドトスをはじめ、古来より人間の歴史を書き紡いできたのは主に男性であった。しかし、(41) (42) 的なアマルナ美術を代表するネフェルティティ像、(43) (44) が製作したパルテノン神殿のアテナ女神像など、彫刻や絵画などに描かれてきた女性の姿は、社会の特徴をさまざまに映し出してきた。ここでは、女性に焦点を当てて世界史の動きを捉えてみよう。

(a) 高位の女性の結婚や血縁関係は政治・社会に大きな影響を及ぼしてきた。14世紀後半にはポーランド王女と (45) (46) 大公が結婚して広大な王国が成立したほか、デンマーク王女マルグレーテは、のちに北欧の (47) (48) 連合の盟主となった。15世紀には、カスティリヤの王女イサベルとアラゴン王子の結婚によりスペイン王国が成立し、(49) (50) 朝の拠点グラナダを陥落させて中央集権化が進展した。ヨーロッパだけではなく、唐の (51) (52) の皇后であった則天武后は、科挙官僚を重用し、政治の担い手が貴族から変化するきっかけを作った。各地で (b) 女王 も多く活躍した。近世以降のイギリスでは、エリザベス1世がスペインの無敵艦隊を破るなど海洋大国の基礎を築く一方で、国内の安定のために (53) (54) を制定した。また1689年には、ジェームズ2世の娘メアリが、夫である (55) (56) 総督ウィレムと王位につき共同統治した。しかし二人は子供に恵まれず、彼らの死後はマリイの妹アンが王位を継承した。19世紀後半にはヴィクトリア女王の治世下で「パクス・ブリタニカ」の時代を迎え、国内では1867年の (57) (58) で労働者の権利を拡大したほか、植民地であった (59) (60) を最初の自治領とした。ロシアでは、18世紀後半にエカチェリーナ2世が学芸保護や法律の整備を進める一方で、(61) (62) の反乱を厳しく弾圧して農奴制を強化し、(c) ポーランド分割 などをおこなった。

その一方で、時代や身分を問わず、社会の変化のなかで悲劇的な死を遂げた女性も多い。百年戦争では、農民の娘ジャンヌ・ダルクは劣勢にあったフランス軍の先頭に立って (63) (64) の包囲を破ったが、異端として火刑に処された。いわゆる「魔女狩り」は中世末の異端審問でも見られたが、おびただしい犠牲者を出すようになったのはむしろ自然科学が発展を遂げた16～17世紀である。血液循環の原理を発見した (65) (66) が魔女裁判で女性の身体検査にあたったことは、その同時代性を物語っている。18世紀以降には、(d) フランス革命 の際に国王ルイ16世が王妃マリイ=アントワネットの故国へ逃亡を試みたが、国境付近の (67) (68) で発覚して国民の信頼を失い、王妃も処刑された。また1919年のドイツでは、社会主義運動の女性指導者 (69) (70) が、ベルリンでの蜂起に失敗し殺害された。

近代以降、ゴーガンの「(e) タヒチの女たち」、キュビズムを発展させた (71) (72) の「アヴィニョンの娘たち」など、絵画に描かれる女性の対象や手法も多様化した。産業革命の普及や20世紀の総力戦は女性の社会進出を加速させ、1893年に世界で初めて (73) (74) で女性の参政権が認められた。1920年にはアメリカで憲法修正第19条によって女性参政権が認められ、トルコ共和国でも、(75) (76) 年に女性参政権が承認された。1960年代のイランでは、パフレヴィー2世による (77) (78) の一環で、土地改革などとともに女性参政権が導入された。女性政治家の活躍も目立ち、イギリスの (f) サッチャーをはじめ、インドの (79) (80) 、台湾の蔡英文、ドイツのメルケルなど多くの名前が挙がる。2014年にノーベル賞を受賞したパキスタンの (81) (82) は女性が教育を受ける権利を訴えるなど、権利の拡大を求める模索は世界各地で続いている。

問1 文中の空欄 (41) (42) ～ (81) (82) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の解答欄 (41) ～ (82) にマークしなさい。

- |              |                |                |              |
|--------------|----------------|----------------|--------------|
| 11 1924      | 12 1934        | 13 1945        | 14 アイルランド    |
| 15 アリス・ポール   | 16 インディラ・ガンディー | 17 ヴァレンヌ       | 18 ヴァンデー     |
| 19 ウプサラ      | 20 エストニア       | 21 オーストラリア     | 22 オランダ      |
| 23 オルレアン     | 24 カナダ         | 25 カルティニ       | 26 カルマル      |
| 27 カレー       | 28 寛容法         | 29 救貧法         | 30 寓意        |
| 31 高宗        | 32 ゴッホ         | 33 コペンハーゲン     | 34 ジェンナー     |
| 35 写実        | 36 人身保護法       | 37 新文化運動       | 38 スコットランド   |
| 39 ステンカ・ラージン | 40 ストラスブール     | 41 第1回選挙法改正    | 42 太宗        |
| 43 第2回選挙法改正  | 44 抽象          | 45 中宗          | 46 ナスル       |
| 47 ナディア・ムラド  | 48 ニース         | 49 ニュージーランド    | 50 ノルウェー     |
| 51 ハーヴェー     | 52 白色革命        | 53 ハンガリー       | 54 パンクハースト   |
| 55 ピカソ       | 56 フィンランド      | 57 フェイディアス     | 58 プガチョフ     |
| 59 ブットー      | 60 プラクシテレス     | 61 マティス        | 62 マララ・ユスフザイ |
| 63 ミケランジェロ   | 64 「緑の革命」      | 65 南アフリカ       | 66 ムラービト     |
| 67 ムワッヒド     | 68 メガワティ       | 69 ランス         | 70 リトアニア     |
| 71 リンネ       | 72 労働組合法       | 73 ローザ・ルクセンブルク | 74 ワンガリ・マータイ |

問2 下線部(a)に関連して、キエフ公国の大公ウラディミル1世はビザンツ皇帝の妹と結婚し、ビザンツ文化の影響下でどのような宗教政策を進めたか。解答用紙Bの所定の欄に15字以内で記入しなさい。

問3 下線部(b)に関連して、アメリカ合衆国の圧力で退位させられたハワイ最後の女王は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部(c)に関連して、第2回ポーランド分割として、1793年にロシアとともにポーランドを分割した国はどこか。国名を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部(d)に関連して、ラ・ファイエットらが起草した人権宣言を男性の権利宣言であると批判し、「女性の権利宣言」を発表したのは誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部(e)に関連して、19世紀にタヒチ島を保護領化した国はどこか。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部(f)に関連して、サッチャー政権下でアルゼンチンとの間で軍事衝突が起こった。その際に領有権が問題となった大西洋上の諸島の名称は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

## III. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

人間は財をなすために何をしてきたか。そもそも、(83) (84) 年前に人類の祖先がアフリカで誕生したとき、狩猟と採集によるその生活に財産は必要なかった。およそ (85) (86) 年前に農耕や牧畜が始まって人類の大多数は自給自足の生活を続けてきた。人類の歴史において、財産を持たないと生存さえ難しい状況が世界を覆ったのはごく最近のことである。

土地の所有は最も根源的な蓄財である。たとえば東アジアでは、(87) (88) にはじまり、唐代まで引き継がれた均田制も、貴族による土地の私有を妨げることはできなかった。ただし、土地それだけでは財産たり得ない。不可欠なのは労働力の所有である。古代ギリシアの都市国家スパルタは被征服民を (89) (90) として使役し、また、共和制ローマの (91) (92) でも、戦争で得た奴隷が大量に用いられた。後期ローマ帝国の (93) (94) と呼ばれた小作人は、中世封建制の<sup>(a)</sup>農奴の先駆と見られている。

しかし、土地と労働力を所有するだけでは財産とは言えない。自給自足の農民は食物を買う必要がないから、その主な購買者は耕作地を持たない都市民である。かくして、食物生産によって富を生む財産としての農地は、都市や商業とともに発展してきた。たとえば、食糧自給を放棄した近世オランダを支えたのは、(95) (96) 地域で領主が隷農を使役して生み出す穀物であった。

もっとも、土地が生む富のうち、最大のインパクトを持ったのは穀物ではない。近代の植民地制度下では、土地と労働力の収奪によって嗜好品や工業原料が生産され、それが莫大な富を生み出して産業革命に原動力を供給した。その収奪の最も過酷の例のひとつは、言うまでもなくアメリカ両大陸である。中南米では国王からの統治の委任を意味する (97) (98) や、大土地所有に基づく (99) (100) という制度がよく知られているが、北米では農園主の私的な支配によって黒人奴隷が酷使され、はじめは (101) (102) の栽培、<sup>(b)</sup>やがて綿花の大規模な栽培が組織された。

北米で綿花栽培が広がったきっかけは、1793年の (103) (104) の発明である。かつて (あ) から大量の綿布を輸入していたイギリスは、18世紀後半から<sup>(c)</sup>自国での生産を追求する。ハーグリーブズやクロンプトンの (105) (106) や、カートライトの (107) (108) が発明され、ワットが改良した (109) (110) も広まるなか、急激な原料需要の増大に応えたのがアメリカである。イギリスが (111) (112) 年に奴隷貿易を禁止したのちも、アメリカ国内の奴隷売買によって多くの黒人が強制的に移動させられ、綿花栽培に従事した。このように、奴隷の労働力に完全に依存していたアメリカの綿花生産は、(113) (114) 年に南北戦争が勃発すると大混乱に陥る。アメリカからヨーロッパへの綿花の輸出はその翌年に激減し、ほぼゼロになった。このことが大きなきっかけとなって、イギリスは綿花の供給地をアメリカ以外に探す。かくして、(あ) が綿花の供給地とされ、やがて綿布をイギリスから輸入するようになった。また、19世紀初頭にエジプトの実権を握ったあと、綿花の取引を独占しつつその栽培を促進した (115) (116) の施策が死後によく奏功し、同地の綿花生産が軌道に乗ったのもこの時期のことである。一方、その後も増大し続けた綿花需要を背景に、北軍勝利後も土地を与えられなかったアメリカの解放奴隷たちは、(117) (118) として綿花栽培に従事し続けた。

問1 文中の空欄 (83) (84) ～ (117) (118) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A (マークシート) の解答欄 (83) ～ (118) にマークしなさい。

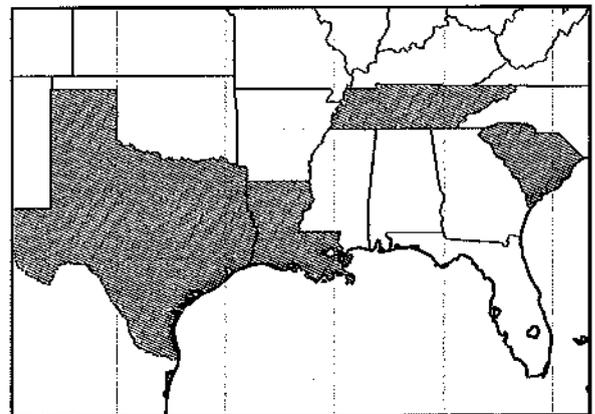
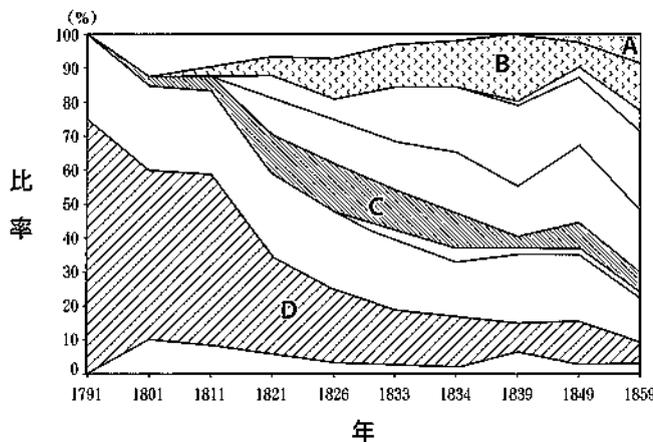
- |              |            |              |           |
|--------------|------------|--------------|-----------|
| 11 1807      | 12 1833    | 13 1848      | 14 1858   |
| 15 1861      | 16 1865    | 17 5千        | 18 1万     |
| 19 7万        | 20 10万     | 21 70万       | 22 700万   |
| 23 アシエンダ     | 24 アルカディア  | 25 アルマダ      | 26 糸車     |
| 27 エンクロージャー  | 28 エンコミエンダ | 29 オラービー     | 30 漢      |
| 31 強制裁培制度    | 32 黒海      | 33 コロヌス      | 34 砂糖     |
| 35 シェアクロッパー  | 36 自作農     | 37 地機        | 38 蒸気機関   |
| 39 秦         | 40 水力機関    | 41 ズデーデン     | 42 高機     |
| 43 タバコ       | 44 テトラルキア  | 45 天然ゴム      | 46 飛び籽    |
| 47 年季奉公人     | 48 ノビレス    | 49 発電機       | 50 バルト海   |
| 51 バルバロイ     | 52 ヒクソス    | 53 プレブス      | 54 ヘイロータイ |
| 55 ペリオイコイ    | 56 紡錘      | 57 紡績機       | 58 北魏     |
| 59 マニユファクチュア | 60 マフムト2世  | 61 ムハンマド・アリー | 62 メスキータ  |
| 63 ラティフンディア  | 64 力織機     | 65 綿繰り機      | 66 綿摘み機   |

問2 本文中の(あ)に入る地名を、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部(a)に関して、(イ)ルターの宗教改革に影響されて始まり、やがて急進化して農奴解放などを目指して鎮圧された反乱の名称、(ロ)東欧で広がりを見せた、農奴制を強化した輸出穀物生産のための農場経営のプロイセンでの名称を、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部(b)に関して、下のグラフはアメリカ合衆国における綿花生産の州ごとの割合の変化を示している。(A)～(D)は、右の地図中に灰色で示した州のいずれかを示している。それぞれの州名を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

(Sven Beckert, *Empire of Cotton*, Alfred Knopf, 2015. を改変して作成。)



問5 下線部(c)に関して、綿製品は布として使用される以外にも、大西洋三角貿易において重要な役割を果たした。その役割を、解答用紙Bに15字以内で記述しなさい。